

<b>アバメクチン・エトキサゾール水和剤</b> <b>メビウスフロアブル</b>	<b>取扱メーカー：</b> 協友アグリ  <b>原体メーカー：</b> シンジェンタ，協友アグリ
<b>成分：</b> アバメクチン〔マクロライド系〕……………1.8% エトキサゾール〔オキサゾリン系〕……………7.5%	<b>性状：</b> 類白色水和性粘稠懸濁液体 <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 2成分の相乗効果により，ミカンハダニに対して高い活性と残効を発揮する。
- 夏から秋に問題となる幅広い害虫に対して，速効的に効果を発揮する。
- 両成分とも，耐雨性に優れている。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 使用前に必ず容器をよく振ってから使用する。
- ハダニ類は繁殖が早く，密度が高くなると防除が困難になるので，発生初期に散布ムラのないように丁寧に散布する。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達し易いので，できるだけ年1回の散布とし，作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液との混用はさける。
- 共通注意事項8，適用作物群に関する注意事項を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- マルハナバチに対して影響があるので，以下のことに注意する。
  - マルハナバチの巣箱及びその周辺にはかからないようにする。
  - マルハナバチを放飼中の施設では，使用量，使用時期，使用方法を誤らないように注意し，病虫害防除機関の指導を受けることが望ましい。
- 水産動植物（魚類，甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので，河川，養殖池等に飛散，流入しないよう注意して使用する。
- 施設内で使用する場合，窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入る。
- 共通注意事項7，ミツバチに対する注意事項を参照。



### 【適用と使用法】……………

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アバメクチンを含む 農薬の総使用回数	エトキサゾールを含む 農薬の総使用回数
かんきつ (みかん を除く)	ミカンハダニ ミカンサビダニ チャノホコリダニ アザミウマ類	2000～ 3000倍	200～ 700 ℓ	14日前 まで  7日前 まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
みかん	ミカンハダニ類							